

## 2019年度第1回(通算第38回)理事会(通常)議事録

一般財団法人国際法学会

1. 日時: 2019年5月18日(土) 12:00~14:30

2. 場所: 東京大学本郷地区キャンパス 法学部4号館8階大会議室  
〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1

### 3. 出席者:

理事18名中 17名

(理事) 浅田正彦、石田淳、植木俊哉、小畑郁、兼原敦子、酒井啓亘、  
高村ゆかり、都留康子、中谷和弘、西谷祐子、西村弓、濱本正太郎、濱本幸也  
古谷修一、真山全、森川幸一、山田哲也

(監事) 吾郷眞一、佐野寛

(事務局) 前田直子、加藤陽

### 4. 議事の内容

#### 1) 報告事項

##### 1 事務委託に関する件

ワーキンググループの酒井座長より、事務委託に関する最終報告書および契約の締結について説明があった。本件に関連して浅田代表理事から、会員の情報管理をそれぞれの会員が実施するという形態への移行は2020年度から開始する方向であるという説明がなされ、了承された。

##### 2 富山房インターナショナルとの契約に関する件

植木編集委員会委員長より、富山房インターナショナルとの契約に関する説明があり、昨年度と同様の形で同契約が締結されたとの指摘がなされた。

##### 3 ジェサップ国際法模擬裁判の開催に関する件

小畑若手研究者育成委員会委員長より、2019年2月16、17日に京都大学で国内予選が開催され、浅田代表理事が決勝法廷の裁判長を務めたこと、また多くの国際法学会会員が運営に貢献したことが報告された。

##### 4 アウトリーチ委員会からの報告に関する件

中谷アウトリーチ委員会委員長より、2019年10月に国際法学会市民講座「海と国際法」を開催予定であること、9月開催の日弁連「国際分野で活躍するための法律家キャリアセミナー」では高柴優貴子会員(西南学院大学)が講演をされること、さらに『学術の動向』において、同委員長が執筆した、国際法学会を紹介する原稿が掲載されたことについて報告がなされた。

### 5 その他

#### (1) 雑誌等保管に関する件

高村理事より、前事務委託先であった学協会サポートセンター保管分の国際法外交雑誌を、学会支援機構と連携している倉庫業者データキーピングサービスに移管し、そのための契約が締結されたことが説明された。浅田代表理事より、その他の在庫分について9月理事会で審議する方針が示

され、了承された。

#### (2) 会費振込用紙に関する件

真山事務局長より、2020年度からは国際法学会振込用紙が赤用紙から青用紙に変更され、振込手数料の負担が学会から各会員に移転すること、および新たな委託先である学会支援機構のシステム上の仕組みがこの変更の理由であるとの説明がなされた。今後、本件変更は評議委員会や会員総会において説明を行っていくこととなった。

#### (3) 学会HP上の監事宛通報アドレスに関する件

都留ホームページ委員会委員長より、当該アドレスの設定および運用について今後検討の必要があるとの指摘があった。浅田代表理事から、本件についてあらためて7月の理事会で審議するとの意向が示され、了承された。

## 2) 議決事項

### 第1号議案 2019年度第1回（通算第20回）評議委員会（定時）の招集に関する件

浅田代表理事より、2019年度第1回（通算第20回）評議委員会（定時）の開催要領が説明された。

議決に加わることでできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された。

**【議決事項】** 2019年度第1回（通算第20回）評議委員会（定時）を以下の要領で招集する。

開催日時：2019年6月8日（土）13時より

場 所：東京都千代田区九段北4-2-25 アルカディア市ヶ谷

報告事項：1. 小田滋賞に関する件  
2. その他

議 案：第1号 定款の改正に関する件（主たる事務所の場所）

第2号 2018年度事業報告・決算の承認に関する件

第3号 2018年度公益目的支出計画実施報告書（案）に関する件

第4号 評議員選任についての会員意見聴取の実施に関する件

第5号 理事選任についての会員意見聴取の実施に関する件

第6号 その他

### 第2号議案 2018（平成30）年度事業報告（案）・決算（案）に関する件

真山事務局長より、2018年度事業報告案について報告がなされた。また兼原理事より、東京で開催された四学会国際会議の大会で使用した国際交流基金からの補助金に残金が発生し、その返金のための手続がされたことが報告された。瀧本会計部長より、監事2名による監査をうけた2018年度事業決算案について報告がなされた。

以上の議事を経て、議決に加わることでできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された。

**【議決事項】** 2018年度事業報告（案）・決算（案）を原案通り承認し、第1回評議員会（定時）に提出する。

### 第3号議案 一般財団法人国際法学会年次研究大会（第122年次）に関する件

#### （1）研究大会における特別講演の実施提案に関する件

兼原研究企画委員会委員長より、研究大会プログラムの決定承認プロセスの観点から、特別講演会の実施が本学会における先例とならないように確認が求められた。

以上の協議を経て、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された。

**【議決事項】** 2019年度研究大会において特別講演を実施する。その具体的な実施についてはいずれかの理事が担当することとし、その人選は代表理事に一任する。同講演は研究大会プログラムに記載する。なお、本件講演の実施は今後の先例にはしない。

#### （2）プログラムに関する件

兼原研究企画委員会委員長より、大会プログラムの検討状況についての説明が配布資料に基づきなされた。議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された

**【議決事項】** 国際法学会年次研究大会（第122年次）を以下の企画で実施する。

研究大会プログラム

1日目（9月2日（月））午後（14:00-17:30）

全体会合1 多元化する条約体制による秩序形成と維持

座長： 奥脇直也（東京大学名誉教授）

坂元茂樹（同志社大学）

藤沢巖（千葉大学）

岡野正敬（外務省）

横溝大（名古屋大学）

2日目（9月3日（火））午前（10:00-13:00）

全体会合2 条約体制の弾力的展開

座長： 江藤淳一（上智大学）

小畑郁（名古屋大学）

西元宏治（明治大学）

宮脇昇（立命館大学）

2日目（9月3日（火））午後（14:30-17:30）

分科会1 条約の国内的实施による法秩序の実現とその動態

座長： 桐山孝信（大阪市立大学）

徳川信治（立命館大学）

鶴田順（明治学院大学）

Dr. Min-Jung Chung (legislative researcher at the National Assembly Research Service)  
井上実佳 (東洋学園大学)

分科会2 多数国間条約体制の持続的発展:条約解釈の多面的機能

座長: 村上正直 (大坂大学)

寺谷広司 (東京大学)

Dr. Jaemin Lee (professor of international law at Seoul National University)

新井京 (同志社大学)

曾野裕夫 (北海道大学)

分科会3 国際私法分野における条約の機能と課題

座長: 長田真里 (大阪大学)

神前禎 (学習院大学)

織田有基子 (日本大学)

増田史子 (岡山大学)

種村佑介 (首都大学東京)

3日目 (9月4日 (水)) 午前 (10:00-13:00)

個別報告

岡田陽平(神戸大学) — 座長: 森川幸一(専修大学)

松田浩道(国際基督教大学) — 座長: 酒井啓亘(京都大学)

岡野祐子(関西学院大学) — 座長: 出口耕自(上智大学)

3日目 (9月4日 (水)) 午後 (14:30-17:30)

1 公募個別報告

小阪真也 (立命館大学助教) 「国際刑事法廷は何を遺すのか? — 国際刑事法廷における『積極的補完性』の実行と国内の法の支配の確立」 — 座長: 北村泰三 (中央大学)

中澤祐香 (早稲田大学大学院) 「国際刑事司法における普遍主義・地域主義・個別主義 — 衝突と協働の構図」 — 座長: 北村泰三(中央大学)

平野実晴(日本学術振興会PD) 「『水のグローバルガバナンス』の行政法的分析 — 水に対する人権の実現過程に着目して」 — 座長: 吉田修 (筑波大学)

大下準 (早稲田大学大学院) 「核不拡散法における貿易管理義務の国内実施 — 安保理決議1540を素材として」 — 座長: 吉田修 (筑波大学)

2 公募分科会

「平和構築過程における個人の権利保護・救済をめぐる国際法上の諸問題」(企画:望月康恵)

(3) 今後の公募方針に関する件

兼原研究企画委員会委員長より、次期委員会において公募パネルの扱いの検討を行うこと、公募個別報告についてはこのまま継続することが説明された。

以上の議事を経て、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事(16名)の賛成により以下の通り議決された。

**【議決事項】** 公募パネルのあり方について、検討を続ける。

(4) 韓国からのパネル報告者の雑誌掲載に関する件

兼原研究企画委員会委員長から、2人の韓国人報告者の報告をどのような形で国際法外交雑誌に掲載するかについて問題提起があった。

議論の結果、国際交流の一環であるという事情を勘案しつつも、通常の会員の場合と同様に雑誌編集委員会で審査することが承認された。

**【議決事項】** なし

(5) 大会運営に関する件

山田大会運営委員会委員長より、近畿日本ツーリストに対し別紙申込書を大会運営委員長会委員長名で提出すること、および同社に案内状と事前申し込みのweb サイトの作成を依頼していることが報告された。

また浅田代表理事より、研究大会プログラムにかかわる原稿の締め切りは6月26日で、これらを6月末に学会支援機構へおくることが説明され、真山事務局長より、学会支援機構は委託後の初めての業務になるため、締め切りを早めに設定したことが説明された。

以上の議事を経て、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された。

**【議決事項】** なし

**第4号議案 国際法外交雑誌第118巻等の編集に関する件**

植木雑誌編集委員会委員長より、資料にもとづき出版状況について説明がなされた。

**【議決事項】** なし

**第5号議案 小田滋賞に関する件**

(1) 2018年度受賞者に関する件

西谷国際関係法教育委員会委員長より、予備審査の結果、国際公法5件、国際政治・外交史1件、国際私法1本を選考委員による審査に委ねた旨、報告があった。その後に代表理事より、選考委員会委員として柳原正治会員、佐野寛会員、吉川元会員の3人に委嘱し、この3名により審査報告書が作成され、それをもとに受賞者に関する原案を作成した旨、報告があった。特に意見は出されず原案が承認された。6月8日15時に授賞式が行われる旨、確認された。

以上の議事を経て、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された。

**【議決事項】** 以下の通り授与する。

**最優秀賞** 該当者なし

### 優秀賞 2名

村角愛佳（むらかど まなか）京都大学大学院 法学研究科 修士課程1年

「同意に基づく軍事介入における同意の有効性」

研究分野：国際法

吉田暁永（よしだ あきなが）早稲田大学大学院 法学研究科 修士課程2年

「欧州人権裁判所による発展的解釈の二面性

—テロ対策に関する判決における個人の権利制約—」

研究分野：国際法

### 奨励賞 4名

高木海翔（たかき かいと）広島修道大学 法学部3年

「第一次英緬戦争におけるイギリス公式帝国の膨張要因

—東インド会社の対ビルマ外交政策と講和条約にみる「安全保障の膨張」—」

研究分野：国際政治・外交史

田村侑也（たむら ゆうや）中央大学大学院 法学研究科 博士課程前期課程2年

「EU加盟国におけるICSID仲裁判断の執行問題—Micula v. Romania 事件を手がかりに—」

研究分野：国際私法

根本裕陸（ねもと ひろむ）東京外国語大学大学院 総合国際学研究所 博士前期課程2年

「欧州共通庇護政策の補完的保護枠組みが抱える課題と展望」

研究分野：国際法

福田優子（ふくだ ゆうこ）大阪大学大学院 国際公共政策研究科 博士前期課程2年

「国家の出入国管理に対する裁量権

—難民認定申請者に対する収容の個別審査の観点から—」

研究分野：国際法

(注) 所属・学年は応募時のもの。

### (2) 2019年度募集に関する件

西谷国際関係法教育委員会委員長より、第7回の小田賞募集については、例年同様のスケジュールにて進めることが説明された。

以上の議事を経て、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された。

**【議決事項】** 第7回小田賞につき、例年同様のスケジュールにて、募集・審査を行う。

### 第6号議案 2019アジアカップ模擬裁判に関する件

小畑若手研究者育成委員会委員長より、資料に基づき説明がなされた。日本財団からの助成金が決定したが、これと外務省からの補助金をあわせて資金として、8月6日と7日にイイノホール&カンファレンスセンターで開催するための準備を進めているとの報告がなされた。

以上の議事を経て、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成によ

り以下の通り議決された。

**【議決事項】** 2019年度アジアカップ模擬裁判を、8月6日と7日に開催する。また、「アジアカップの傍聴案内」および（必要な場合には）「アジアカップの裁判官への協力のおねがい」を国際法学会のホームページに掲載する。

#### 第7号議案 新入会員の承認に関する件

真山事務局長より、以下の4件の新入会（維持会員1、一般会員2、学生会員1）の入会を認めること、および14名の会費滞納者を除籍することが提案され、さらに維持会員の申込書が作成されたことも併せて報告された。

定款第41条1項及び2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（16名）の賛成により以下の通り議決された。なお、1名大学院生で一般会員として入会が認められたものがあるがこれは在学証明未提出のためであり、これが提出されれば学生会員の身分に変更されることが併せて了解された。

**【議決事項】** 会員の異動（新入退会等）

新入会員＝4名（一般会員＝2名(\*)、院生＝1名、維持会員＝1件）

(\*在学証明未添付の院生入会申込1があり在学証明提出まで一般会員として扱う。)

退会希望者＝（略）

現在(2019年3月31日)の会員数

900名（一般会員780名、名誉40名、院生75名、特別3名、終身1名、維持会員1件）

新入会員追加及び退会希望者削除後

883名（一般会員762名、名誉40名、院生75名、特別3名、終身1名、維持会員2件）

（会員種別 院生より一般会員転換1名有）

会費3年以上滞納除籍者リスト(2016年度～2018年度)(2019年5月10日現在)

（略）

#### 第8号議案 その他

(1) 「評議員及び理事の選任についての意見聴取の実施に関する件」

浅田代表理事より、本件意見聴取についての議決事項は7月に実施される理事会で審議する予定であることが報告され、了承された。

**【議決事項】** なし

(2) 「司法試験制度の見直しに関する声明」に関する件

浅田代表理事より、1月31日に国際法学会のホームページにおいて代表理事名で「司法試験制度の見直しに関する声明」が出された経緯についてあらためて説明があった。理事会運営規程第12条2に基づき、当該声明の公表について理事会の追認が求められ、了承された。

**【議決事項】** 1月31日の代表理事名の声明を理事会において追認する。